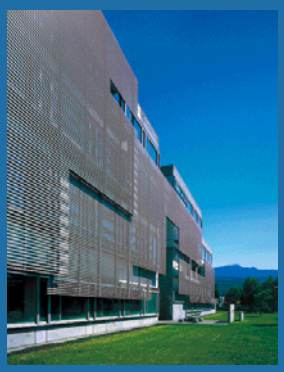

北海道工業大学
On Demand 情報誌
HiT NEWS
Vol.6

平成22年度 学位記授与式が挙行されました

ニトリ文化ホールでの学位記授与式(2011.3.16)

CONTENTS

加藤聡貴さんが若手優秀講演フェロー賞を受賞	1
公開講座「上質なせっけんを手づくりしてみよう」を開催	1
「ふるさと手稲歴史案内板」の設計・デザインを手稲区役所へ提案	2
建築雪氷工学研究室が北海道赤レンガ建築賞を受賞	2
学長賞および優秀学生賞の表彰式が行われる	3
「江差ふっとぱす」のマップおよび専用サイトの制作に協力	4
「第4回道展U21」で本学学生が奨励賞および入選	4
第25回全日本学生リュージュ選手権大会で好成績	5
基礎スキー部　第38回全国学生岩岳スキー大会でV2達成！	5
平成22年度　学位記授与式が挙行される	6
平成22年度退職教員による最終講義が行われる	6
札幌駅前通地下歩行空間のアイデアコンペで最優秀賞受賞！	7
卒業生および教職員が「東北関東大震災義援金」を送金	8
クラブ活動報告	8

冬 2010 Winter

学生の活躍

加藤聡貴さんが若手優秀講演フェロー賞を受賞

本学大学院機械システム工学専攻修士課程２年の加藤聡貴さんが、平成 22 年 11 月 7 日(日) に開催された日本機械学会北海道支部講演会「ロボティクス・メカトロニクス／宇宙工学」のセッションにおいて、発表した論文が評価され、日本機械学会北海道支部から「若手優秀講演フェロー賞」を受賞しました。

表彰式は、平成 23 年 3 月 18 日(金) 北海道大学学術交流会館で開催された「日本機械学会北海道支部第 51 期支部総会」で行われました。

加藤さんの今後の活躍を期待しています。

【受賞論文】
＜論文名＞
LRF を用いた衛星の形状による姿勢推定に関する実験的研究
＜著者＞
加藤聡貴(機械システム工学専攻　修士課程２年)、
早坂亮佑(応用電子工学専攻　修士課程１年)、
竹澤聡、高島昭彦、三橋龍一

地域・産学連携

公開講座「上質なせっけんを手づくりしてみよう」を開催

平成 23 年 1 月 19 日(水) 17 時 30 分から、北海道工業大学環境分析演習室において、本学都市環境学科の福原朗子講師が「上質なせっけんを手づくりしてみよう」と題して公開講座を開催しました。

この講座は、18 歳以上の方を対象とした大人の体験型講座で、市民の皆さまからの開催希望が多数あり、開催したものです。

講座では、オリーブオイルをベースに数種類のオイルをブレンドし、水酸化ナトリウム、エッセンシャルオイルを加えることにより、自分好みの香りがする市販では味わえない肌に優しい上質なせっけんを手づくりするものです。

当日は、ＮＨＫ総合テレビ「ネットワークニュース北海道」の中で、「自分にあった石けんを―人気の手作り教室―」として、生中継もされました。

型に入れ完成するまでには、5 週間程度の熟成する工程があるため、参加者は当日持ち帰ることができません。

手元に届くまで待ち遠しいと思います。

地域・産学連携

「ふるさと手稲歴史案内板」の設計・デザインを手稲区役所へ提案

平成 23 年 1 月 27 日(木) メディアデザイン学科福田菜々助教と同ゼミ生 8 名が、「ふるさと手稲歴史案内板」の設計・デザインを手稲区役所へ提案しました。

この「ふるさと手稲歴史案内板」の設計・デザインは、手稲区内にある史跡の案内看板用(毎年数基づつ設置予定) で、昨年手稲区役所から依頼を受けたものです。

今回は、福田菜々助教のゼミ生各自が考えた「設計・デザイン」(計 8 案) のコンセプト等を手稲区担当者 2 名、手稲郷土史研究会関係者 2 名に説明しました。

後日、この「設計・デザイン」は、手稲区役所内で検討され、最適なデザインが採用されることとなります。

どのゼミ生の「設計・デザイン」が採用され、どこに毎年設置されていくかが楽しみです。

大学総合

建築雪氷工学研究室が北海道赤レンガ建築賞を受賞

日本生命札幌ビル(札幌市中央区) の建築物が「平成 22 年度北海道赤レンガ建築賞」に輝き、雪害対策コンサルを担当した本学建築工学科建築雪氷工学研究室(指導教官 副学長・建築学科 苫米地 司教授(現学長)) が表彰されました。

北海道赤レンガ建築賞は、建築文化の向上や、地域に根ざしたまちづくりの促進を図ることを目的として、昭和 63 年度から北海道主催で実施されています。

「平成 22 年度北海道赤レンガ建築賞」の表彰式は、平成 23 年 2 月 3 日(木) 13 時 30 分からポールスター札幌で行われ、研究室を代表し指導教官の副学長・建築学科苫米地 司教授(現学長) が出席し、高井北海道副知事から表彰状が授与されました。

学長賞および優秀学生賞の表彰式が行われる

平成 23 年 2 月 4 日(金) 本学大会議室 A において、学長賞および優秀学生賞の表彰式が行われました。

学長賞および優秀学生賞は、学術的にすぐれた業績を挙げた者または団体および課外活動で優秀な成果を収めた者または団体に対して表彰する制度です。

学長から学生 4 名と学生団体 3 クラブに対して表彰状および副賞が授与されました。

受賞者の皆さんおめでとうございます。

【学長賞受賞者】

＜個人＞

○環境デザイン学科　4年　岩本衣美里さん
・和道会ワールド空手道カップ2010において
形個人女子優勝

【優秀学生賞受賞者】

＜団体＞

○空手道部
・第43回北海道学生空手道選手権大会において男子団体組手優勝
・第46回和道会全国空手道競技大会において組手大学生男子団体第3位

○エアライフル射撃同好会
・平成22年度北海道学生ライフル射撃選手権大会エアーライフル競技団体において
春季・秋季連続第1位

○弓道部
・第57回全道学生弓道選手権大会において男子団体戦優勝

＜個人＞

○医療福祉工学科　2年　川崎博生さん
・第40回北海道学生空手道選手権大会において男子個人組手優勝

○メディアデザイン学科　1年　沼亮太朗さん
・平成22年度全道新人学生卓球選手権大会において男子シングルス第1位

○メディアデザイン学科　1年　沼亮太朗さん／人間社会学科　1年　山田真太郎さん
・平成22年度全道新人学生卓球選手権大会において男子ダブルス第1位

学生の活躍

「江差ふっとぱす」のマップおよび専用サイトの制作に協力

本学工学部建築学科 谷口研究室のゼミ生２名(指導教官 谷口尚弘准教授) が、「江差ふっとぱす」のマップおよび専用サイトの制作に協力しました。
「江差ふっとぱす」のマップおよび専用サイトは、北海道建築士会檜山支部などの地元建築関係者、江差小学校６年生・先生、本学建築学科谷口研究室学生を中心に構成された「檜山景観プラットフォーム(住まい・まちづくり担い手事業)」により制作したもので、江差町市街地の景観スポットをめぐるフットパスのコースを紹介するものです。

ゼミ生は、実際に町内にある歴史的建造物の見学や地域の方々への意見交換、江差景観ポイント環境整備ワークショップへの参加など、数回に渡り江差町へ足を運び完成へ扱ぎつけました。

また、今回の取り組みについては、平成 23 年２月４日(金) 北海道檜山振興局で開催された「檜山地域の古建築を活かした景観フットパスまちづくり公開シンポジウム」([主催] 社団法人北海道建築士会檜山支部、[共催] 本学建築学科谷口研究室、北海道檜山振興局、[後援] 江差町) において報告いたしました。
「江差ふっとぱす」のマップおよび専用サイトを利用いただき、一人でも多くの方が江差町へ足を運んでいただければ幸いです。

江差町公式ホームページ
http://www.hokkaido-esashi.jp/

江差ふっとぱす
http://www.hokkaido-esashi.jp/keikanpf/index.html

学生の活躍

「第４回道展 U21」で本学学生が奨励賞および入選

平成 23 年２月７日(月) 北海道美術協会から「第４回道展 U21」の受賞者が発表され、本学美術部の学生２名が奨励賞および入選しました。
「道展 U21」は、北海道美術協会主催による 21 歳以下対象の公募展です。

受賞された皆さん本当におめでとうございます。

【受賞者】
＜奨励賞＞
人間社会学科　３年　徳永敬一さん
＜入選＞
メディアデザイン学科　３年　橋本拓さん

学生の活躍

第 25 回全日本学生リュージュ選手権大会で好成績

平成 23 年 2 月 19 日(土)、札幌市藤野リュージュ競技場で開催された「第 25 回全日本学生リュージュ選手権大会」において、一人乗り男女混合 250m で、工学部機械工学科 4 年 佐藤誠さん(本学リュージュ同好会所属) が第 3 位となりました。

この大会は、日本学生リュージュ連盟、北海道リュージュ連盟の主催で、大学生が参加し、専用の「そり」で 250 mの氷の壁を 2 回滑り降り、合計タイムで順位を競うものです。

今後の活躍を期待しています。

学生の活躍

基礎スキー部　第38回全国学生岩岳スキー大会でV2達成！

平成23年2月27日(日)～3月4日(金)白馬岩岳スキー場(長野県) を会場に開催された「第 38 回全国学生岩岳スキー大会(基礎スキーの部)」において、本学基礎スキー部が「男子団体戦」で参加 55 チームの頂点に立ち、V2 を成し遂げました。

団体戦は、6 名 1 チームで滑走し、規定演技および自由演技の合計得点で順位を競うものです。

【男子団体戦出場者】

建築学科	4年	山末竜也さん
機械システム工学科	4年	廣瀬平和さん
機械システム工学科	3年	髙木俊洋さん
機械システム工学科	3年	長谷川明生さん
建築学科	3年	木下貴裕さん
メディアデザイン学科	2年	中村勝さん

また、その他の種目でも好成績を収めました。

男子新人戦	5位	
機械システム工学科	1年	吉本健志さん
個人演技男子	6位	
建築学科	4年	山末竜也さん
男子クラブ総合	8位	
北海道工業大学	Infinity Ski Team	

今後の活躍を期待しています。

大学総合

平成22年度　学位記授与式が挙行される

平成22年度 学位記授与式が3月16日(水)、ニトリ文化ホール(旧北海道厚生年金会館) で挙行されました。

大学総合

平成22年度退職教員による最終講義が行われる

平成 22 年度をもって退職される教員の最終講義が、次の日程で行われました。

○星野政幸 教授(工学部　建築学科)
【実施日時・場所】
平成23年2月18日(金) 17時～18時
本学G104教室

○笠原篤 教授(工学部　社会基盤工学科)
【実施日時・場所】
平成23年3月11日(金) 14時～15時
本学合同講義室(5106教室)

○神谷光彦 教授(工学部　社会基盤工学科)
【実施日時・場所】
平成23年3月22日(火) 15時～16時30分
本学合同講義室(5106教室)

学生の活躍

札幌駅前通地下歩行空間のアイデアコンペで最優秀賞受賞！

平成 23 年 3 月 26 日(金)、ＪＲ札幌駅と大通公園を結ぶ札幌駅前通地下歩行空間の「賑わい創出手法検討会」の最終発表会が地下広場で行われ、本学未来デザイン学部人間社会学科の碇山ゼミチームが最優秀賞を受賞しました。

これは地下広場の賑わいづくりのため、札幌市が昨年 6 月札幌圏の大学にアイデアの検討を呼び掛け、北海道大学や小樽商科大学、札幌市立大学、北海道情報大学など 10 大学の学生チームが参加して検討を重ねてきたもので、最終発表会では 9 チームが発表を行いました。

碇山ゼミの学生チームは、『地下を抜けたら、みんな笑顔になった！ Smile Street Projects』をコンセプトに、

1) 地下通路のシンボルキャラクター「さっぽろ縁むすびの母“ちかぁ～さん”」
2) 東日本大震災の復興と日本の再生を願う言葉で命の森を蘇らせる「言の葉の森」(収益は復興の義援金に)
3) ECO発電を楽しみながら体験できる「エコ・イルミネーション　3つの世界」
4) ストリート演劇ファッションショー「チカ・コレ」

の 4 つのアイデアを提案。

アイデアの面白さと老若男女を楽しませる仕掛けで高い評価をいただき、審査員の全員一致で最優秀賞に決定したそうです。

主催した札幌駅前通まちづくり会社は今後、学生たちの案を基に地下広場の活用策を検討するということで、碇山ゼミの学生たちは「アイデアを実現できる機会があれば、ぜひ自分たちも力を尽くしたい。とくに ECO 発電などは他学科のゼミとも協力できれば、道工大ならではの力が発揮できると思う」と語っています。

ぜひ実際に採用されて、アイデアが実現するのを見てみたいですね

大学総合

卒業生および教職員が「東北関東大震災義援金」を送金

平成 23 年 3 月 16 日(水) に学位記を受理した本学医療福祉工学科第7期卒業生は、この度の東北地方太平洋沖地震によって発生した被害の報道に触れ、その被害の甚大さと被災された方々への配慮と自分たちに何かできることはないかと考え、予定されていた医療福祉工学科での謝恩会開催を中止しました。

そして有志が義援金の寄付を呼びかけたところ多数の学部卒業生・大学院修了生・保護者・教員の方々から合計30 万円の義援金を集めることができました。

この義援金は、3 月 22 日付で日本赤十字社「東北関東大震災義援金」の口座に振り込みました。

また、本学教職員についても同様、東北地方太平洋沖地震発生の翌日から事務局内に義援金箱を設置し、第 1 回目の途中集計として 3 月 28 日付で日本赤十字社「東北関東大震災義援金」の口座に振り込みました。

改めて被災された多くの方々に対し、心からのお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

学生の活躍

クラブ活動報告

基礎スキー部

●第38回全国学生岩岳スキー大会(基礎スキーの部)
男子団体戦　優勝
(建築4年　山末竜也、機械4年　廣瀬平和、
機械3年　髙木俊洋、機械3年　長谷川明生、
建築3年　木下貴裕、メディア2年　中村勝)
男子新人戦　5位(機械1年　吉本健志)
個人演技男子　6位(建築4年　山末竜也)
男子クラブ総合　8位
(北海道工業大学　Infinity Ski Team)

●第29回北海道学生スキー技術選手権大会
男子クラブ総合　1位
(北海道工業大学　Infinity Ski Team)
個人男子　5位(建築4年　山末竜也)
個人男子　7位(建築3年　木下貴裕)
個人男子新人　2位(機械1年　小谷哲平)

リュージュ同好会

●第25回全日本学生リュージュ選手権大会
一人乗り男女混合250m　3位(機械4年　佐藤誠)

エアライフル射撃同好会

●会長杯兼ランクリスト競技会H23年国体予選AR
10mS60M　3位(建築1年　瀧澤俊介)
10mS60M　7位(人間2年　成田卓弥)

美術部

●第4回　道展U21
奨励賞(人間3年　徳永敬一)
入選(メディア3年　橋本拓)

放送芸術部

●2010年度シネマdeポリス
美術賞・映像賞(作品名「twins」、監督：メディア3年　芝原久美子)
音響賞(作品名「Existence」、監督：情フ3年　屋代悠貴)